

残りの時間で
何するか。
さかのぼって
考えよう。



「知への初々しい憧れと畏敬の念」

～子どもの学びを支える教師力・学校力の強化～

校長通信第211号

令和5年3月17日

3. 11を忘れない



3月11日（土）、A先生からご自身のご経験を、オンラインで全校児童に語っていただきました。映像も交えて、どれくらいの災害になったのかを伝えていただきました。12年前の3月11日の午後2時46分から始まったこと。

震災後に生まれた子どもたちに、真に「命が一番大事なんだ」ということが伝わったと信じています。太平洋戦争のこともそうですが、このことが風化せず、語りつないでいくことの重要性を教育者として肝に銘じ、教職員一同共有いたしました。

この日、本校の正門前に、弔意掲揚をいたしました。子どもたちにも、その意味について説明しました。